

一般社団法人日本画像医療システム工業会の皆様へ

日本医用画像情報専門技師共同認定育成機構から
医用画像情報専門技師スキルアップセミナーのお知らせ

モニタ診断環境の構築や保守管理に関する技術情報や知っておくべきモニタ診断の枠組みについて一括して学びませんか。

一般社団法人日本医用画像情報専門技師共同認定育成機構では、「医用画像情報専門技師」の認定を行っています。

その一環として、医用画像情報専門技師向けのスキルアップセミナーを例年開催しております。

(※本セミナーは、どなたでも参加可能です。毎回、専門技師をお持ちで無い方も多数ご参加頂いております。)

今日、モニタ（主として液晶モニタ）による画像観察システムは、画像診断を行う上で、必要不可欠な情報システムです。しかし、そもそも医用画像表示用モニタがなぜ必要なのか、その表示原理や医用画像観察時に守るべきガイドラインはどうなっているのか、モニタ診断環境の運用や平成29年度に改正された「医用画像表示用モニタの品質管理に関するガイドライン」における変更点はどこかなど、画像表示に関わる領域について、一括して専門的に学ぶセミナーをご用意しました。

今やシステム導入には欠かせないデバイスとなった医用画像表示用モニタの技術的な構造のみならず、モニタ診断環境の適切な運用に必要な知識を幅広く学べる構成となっております

この機会に、是非本セミナーに参加され、モニタ診断環境構築時に必要な基礎や管理に関する正しい知識を手に入れませんか？

- ・ 医用画像情報専門技師更新ポイント 30ポイント(K17-059・K17-060)
- ・ 医療情報技師更新ポイント 3ポイント(17-133-1・17-133-2)

※モニタ診断や管理に関する入門セミナーではありません。医療情報技師や医用画像情報専門技師を取得した方向けの技術的内容となっております。一部の技術解説は、初学者にはやや難度が高い場面も想定されます。

一般社団法人日本医用画像情報専門技師共同認定育成機構

=====

一般社団法人日本医用画像情報専門技師共同認定育成機構主催

■医用画像情報専門技師スキルアップセミナー

「医用画像表示用モニタと適切なモニタ診断環境構築に必要な知識を学ぶ」

=====

●開催日時と場所

★東京会場：平成30年3月17日（土） 10時00分～16時00分
北里大学白金キャンパス アネックス棟5階 AB会議室

★大阪会場：平成30年3月18日（日） 10時00分～16時00分
社会医療法人神鋼記念会 神鋼記念病院

●参加資格

参加資格はありません。モニタ診断システムについて専門的に学びたい方に最適です。

●募集人数

各会場30名（満席になり次第締め切ります。）

●お申し込み

機構Webサイトから https://www.jami.jp/miis/oshirase_2/item1.php

●参加費

12,000円（セミナーテキスト込み。）→医用画像情報専門技師認定者は、10,000円です。

●ポイント等

- ・医用画像情報専門技師更新ポイント 30ポイント(K17-059・K17-060)
- ・医療情報技師更新ポイント 3ポイント(17-133-1・17-133-2)

●セミナープログラム（両会場共通）

10時00分～	開会の挨拶・講習会の狙いと機構からの連絡
10時10分～11時10分	「モニタ診断に必要な基礎知識」 ・センサーとしての眼の特徴とデジタル画像の取り扱い ・カラー画像とモニタ診断環境構築時に必要なこと
11時10分～11時20分	休憩
11時20分～12時30分	「モニタ（ハードウェア）の基礎」 ・モニタハードウェアの構成や特徴に関する詳述 ・構造説明にとどまらない設計の特徴やポイントについて
12時30分～13時30分	昼食
13時30分～14時40分	「標準規格と品質管理ガイドラインについて」 ・DICOM PS 3.14 GSDFとDICOM 補遺124の解説 ・JESRA X-0093（2017年改正）解説と 海外モニタ関連標準化の状況
14時40分～14時55分	休憩
14時55分～15時55分	「臨床現場におけるモニタ管理と更新の実際」 ・モニタ管理と更新の実際（不変性試験・日常管理） ・モニタ診断システム構築の実際（更新提案・解像度選択）
15時55分～	閉会の挨拶

講師：一般社団法人日本画像医療システム工業会モニタ診断システム委員会委員
一般社団法人日本医用画像情報専門技師共同認定育成機構理事

以上